

メーデー宣言

私たちは本日、第85回全道メーデー大会を迎えた。

3. 11 東日本大震災から3年が経過した。しかし、未だに26万人以上の方々が避難生活を余儀なくされ、震災関連死も後を絶たないなど、依然として厳しい生活や苦悩が続いている。私たちは「あの日」を記憶にとどめ、被災地の方々に寄りそって、一日も早い復興・再生をなしとげ、希望ある社会にしていかなければならない。

2014 春闘において、連合北海道は全国の仲間と連帯して、所得配分の適正化をめざし、月例賃金引き上げにこだわり、働くものの総力を結集して闘いを進めてきている。十分とはいえないものの、確実に賃金闘争は前進している。さらに中小地場、パート・非正規労働者に波及させ、賃金カーブの維持や最低賃金の引き上げなど、すべての労働者の底上げを勝ち取っていかなければならない。

日本経済は、「アベノミクス」によって右肩上がりにうつるが、地域間・企業規模間格差、労働者の生活は一向に改善しておらず、市場における強者が得た利益が弱者に流れ落ちるとする「トリクルダウン」の経済政策では社会の持続可能性は立ちゆかない。むしろ、非正規労働者やワーキングプア、生活保護世帯は増大し、貧困の拡大と固定化が進むなど、社会問題化している。さらに、労働法制の規制緩和の動きなど、深刻さを増す状況にある。

私たちは、社会福祉の拡充を進めるとともに、労働者保護ルールの改悪を許さず、適正な成果配分を実現し、貧困解消・格差是正と傷んだ雇用の復元を図っていく。

世界は自由と平和を脅かす情勢が続いている。いまだに繰り返される核開発・核実験問題、そして世界各地で起きている地域紛争やそれにとまなう難民の急増など深刻な状況にある。我が国においても領土問題など近隣諸国との緊張関係が高まり、特定秘密保護法の強行採決や集団的自衛権の憲法解釈の変更の動きなど、平和や民主主義を脅かす状況が進みつつある。

私たちは、立憲主義と憲法の三大原則を堅持し貫徹するとともに、世界の恒久平和を希求し、人権侵害救済や核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて核兵器廃絶を訴えるなど、あらゆる紛争の平和的解決を求めて邁進する。長年の課題である米軍基地問題についても「整理・縮小」「日米地位協定の抜本的改定」をめざし全力をあげる。

メーデーは国際連帯の日である。

私たちは、「国際労働組合総連合」（ITUC）と連携し、グローバル化による貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロなどをなくすため、また、「ディーセントワーク」の実現のために、闘いを強める。

そして、今こそ、すべての働く者の連帯とNPO・NGOとの連携で貧困と格差を撲滅し、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを宣言する。

2014年5月1日

第85回 全道メーデー大会